

メ-カ- NBT

抗ヒトインスリン モノクローナル抗体

本抗体はヒトインスリンをBALB/Cマウスに免疫し得た脾臓細胞とマウスミエローマ細胞(P3U1)とをポリエチレングリコール法により融合し作製されたハイブリドーマをマウス腹腔へ移植することにより得たマウスモノクローナル抗体です。

抗原 : ヒトインスリン

特性 : 次表に示す

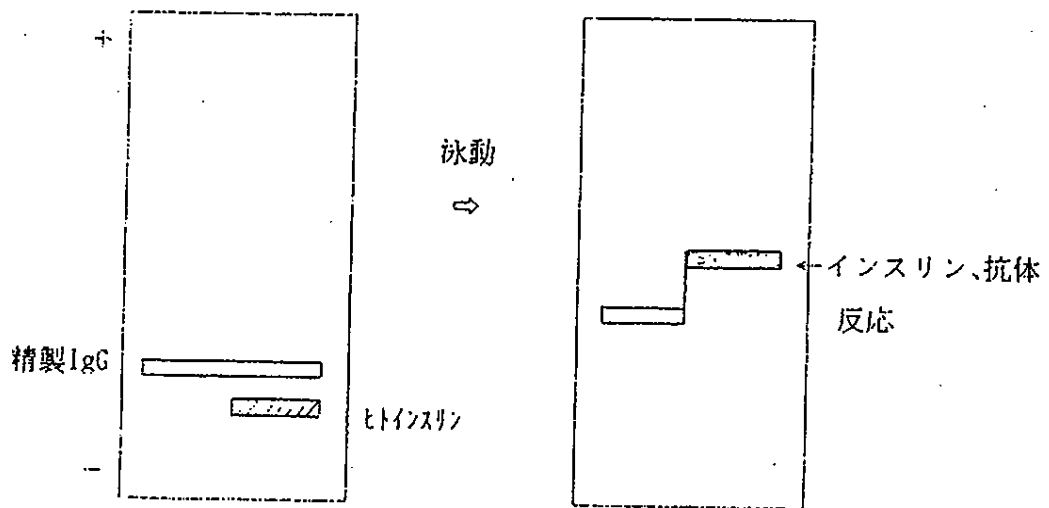
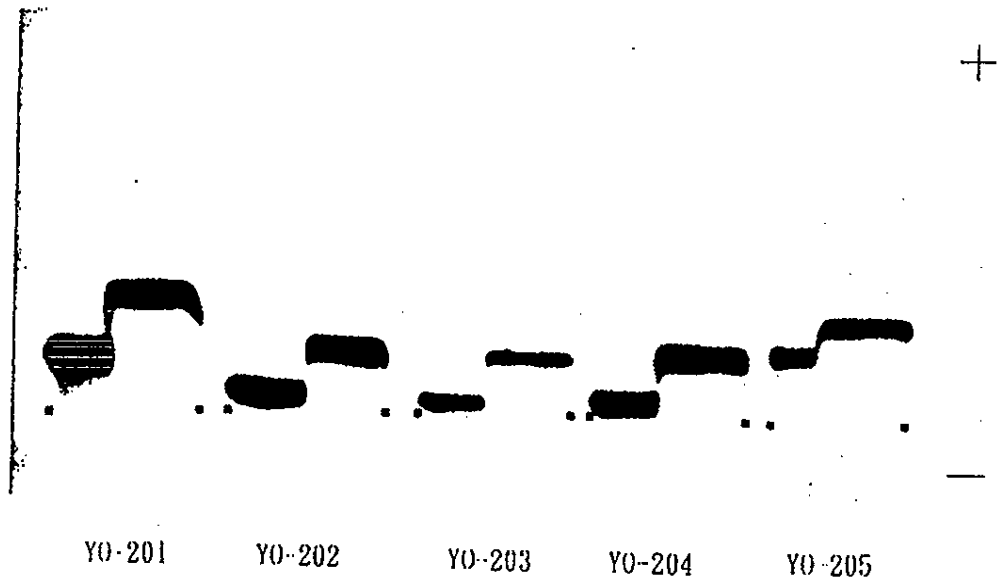
<i>Cat No</i>	クローンNo.	サブクラス	抗体力価*
<i>MYO-201</i>	Y0-201	IgG1	4.5×10^4
	202	IgG2a	6.5×10^4
	203	IgG2a	6.8×10^4
	204	IgG2a	8.8×10^4
	205	IgG2b	5.8×10^4

* 抗原固相化プレートを用いたELISA法により得た1mg/mlの抗体希釈倍数
(O.D. 0.1の値)

内容 : 10mMPBS pH7.4(0.1%NaN₃)にて1mg(1mg/ml)に調整してあります。

保存法 : 本製品は、4℃にて保存して下さい。

抗ヒトインスリンモノクローナル抗体の
セルロースアセテート膜電気泳動図



5種のモノクローナル抗体はいずれも抗体バンドが吸収され消失し、ヒトインスリンと反応していることが確認された。